

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	012502	事務事業名	鹿野総合支所整備検討事業費			
担当部・課名	鹿野総合支所 地域政策課	評価者 (課長)	兼重 雅洋	評価責任者 (部長)	木佐谷 進	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	900201	分野	9行政経営	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)行財政改革の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	鹿野総合支所の整備に向けた住民との合意形成。	事業の目的 (意図)	将来的な鹿野総合支所の施設整備に向け、安心・安全な地域の拠点施設として整備の方向性を進める。
事業の内容 (手段)	市民コンセンサスを得る方法として、ワークショップ形式を用い、新たな総合支所の整備方法と場所について合意形成を図る。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	住民との合意形成		鹿野総合支所の施設整備について合意形成をする。	式	目標値	1.0	
実績値					1.0		
達成度(%)					100.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	3,240	0	500	0
うち一財		千円	3,240	0	500	0	
(決算額)	直接事業費	千円	2,484	0		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	2,484	0			
	正職員人件費	千円	2,958	0			
	人工数	人	0.40	0.00			
	支出コスト	千円	決) 5,442	決) 0			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年度に基本方針を策定しているが、この時には想定できる整備方法と整備場所を定め、4案を提示している。また、平成27年度には、現総合支所の遊休スペースを賃貸している金融機関の今後の方向性も決まり、4案の整備方針から更に絞り込みを行う。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 100%の住民から合意を得ることは不可能であるが、少数意見者への対策と丁寧な説明を根気よく行う必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	住民との合意形成の後、翌年度以降具体的な設計業務を実施する。	評価責任者コメント	平成27年度は関係機関との協議・調整を行った。その協議・調整の中で、総合支所内にある金融機関については存続に前向きな方向性を得ることができた。平成28年度は地域住民との熟議を深化し、整備場所・整備方法について、一定の方向性を導き出した。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	鹿野総合支所施設整備検討事業	整備方法や整備場所についての合意形成	講演会や3回以上のワークショップを実施し、住民との合意形成を図る。	500			
				可			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	012553	事務事業名	鹿野総合支所管理運営事業費			
担当部・課名	鹿野総合支所 地域政策課	評価者 (課長)	兼重 雅洋	評価責任者 (部長)	木佐谷 進	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	900201	分野	9行政経営	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)行財政改革の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	来庁者、職員	事業の目的 (意図)	鹿野総合支所の適切な維持管理をする。
事業の内容 (手段)	住民にとって快適な行政窓口でありながら、コスト削減に努めた鹿野総合支所の施設管理をする。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
エネルギーコスト削減		電気・水道使用料の前年度比 2%削減	円	26年度	3,395.7	3,382.0	3,314.4
				27年度	3,451.0	3,215.0	
				28年度	98.4%	105.2%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	15,592	15,482	16,438	14,515
	うち一財	千円	14,329	14,263	15,249		
(決算額)	直接事業費	千円	14,890	14,879		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	13,684	13,657		マイクロバス管理の 所管変更等による委 託料の減	
	正職員人件費	千円	2,219	1,481			
	人工数	人	0.30	0.20			
	支出コスト	千円	決) 17,109	決) 16,360			

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	合併後、旧役場が総合支所として存続している。遊休スペースを金融機関に賃貸させ、総合支所としての事務所を1階に集約し、住民の利便性と施設管理の効率性を高めている。	課題・ 問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 建築後40年余りが経過しており、来庁者にも玄関までの登坂や施設自体がバリアフリーに対応していません。利用しにくい施設となっている。しかも耐震性に劣ることから、安心・安全な拠点施設として建物自体の更新が望まれる。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	地域の拠点施設が、総合支所とコアプラザかの2か所になっていることもあり、今後の総合支所の整備方法等を定める必要がある。総合支所の施設更新までは、現状維持を原則にコスト削減に努めた維持管理を行う。	評価 責任者 コメント	職員のエコやコストに対する意識啓発を図るとともに、委託業務等の仕様書や契約方法の見直しを行い、経費の削減に努めた。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
・エネルギーコストの見直しによる燃料費、電気料、上下水道使用料の削減及び修繕料の削減により、△376千円。 ・マイクロバスの所管替えによる運転業務委託料の削減額△1,238千円。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	鹿野総合支所管理運営事業	経費削減による管理費の削減	ペーパーレス化の推進やエネルギーコストの削減に努め、管理費の節減に努める。	否		0.20	
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	911029	事務事業名	コアプラザかの管理運営事業費			
担当部・課名	鹿野総合支所 地域政策課	評価者 (課長)	兼重 雅洋	評価責任者 (部長)	木佐谷 進	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	900201	分野	9行政経営	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)行財政改革の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	来庁者、職員	事業の目的 (意図)	コアプラザかの適切な維持管理を行いながら、利用者の増大を図る。
事業の内容 (手段)	利用者には利用しやすく、職員には快適な職場環境となるよう維持管理に努める。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
利用者数	貸館利用者の申請書及び実績報告書の積み上げ	人	目標値	31,400.0	31,400.0	31,400.0	
			実績値	33,264.0	37,360.0		
			達成度(%)	105.9%	119.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	11,316	11,569	11,245	11,536
うち一財		千円	10,880	11,132	10,786		
(決算額)	直接事業費	千円	10,623	10,738		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	10,168	10,348			
	正職員人件費	千円	7,395	3,703			
	人工数	人	1.00	0.50			
	支出コスト	千円	決) 18,018	決) 14,441			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成21年2月の供用開始から医療、福祉、保健、生涯学習の拠点施設として、地域住民にも認知されてきた。またイベント会場として利用されることもあり、親しみやすい施設となっている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 イベント開催などにより一時的な利用者数の増加は見込めるが、継続的な利用となるよう推進しなければならない。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	利用率を向上させるため各種団体や個人と連携し、体験会の実施や教室の開催などに努め、周知を行っていく。	評価責任者コメント	施設本来の目的である機能が向上するよう経費節減を図りながら、施設管理を遂行するよう努めた。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
・エネルギーコストの見直しによるLPG、電気料上下水道使用料の削減額△191千円 ・周辺環境整備のための樹木管理委託料の増額662千円	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	コアプラザかの管理運営事業	経費削減による運営費の削減や利用者数の向上に努める。	エネルギーコストの縮減に努め、体験会や教室の開催などにより、利用者へ周知を図る。	否		0.50	
②							
③							
④							
⑤							